

パオン エッセンスリッチ

乳液タイプ

< 使用説明書 >

ヘンケルジャパン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

使用方法、その他についてご質問がありましたら、
お客様相談室まで、お問い合わせください。

お客様相談室 ☎0570-032525

受付:土・日・祝日を除く10:00~12:00/13:00~17:00

AF.A

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

使用上のご注意

1 次の方は使用しないでください

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよいところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

必要なものの準備

箱の中に入っているもの

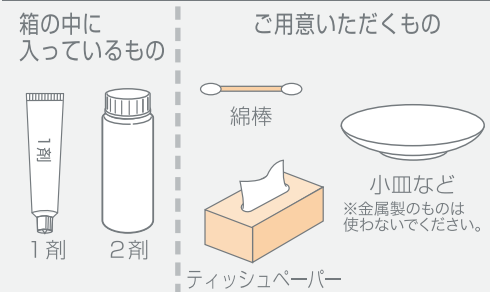


ご用意いただくもの



皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)時に必要なもの

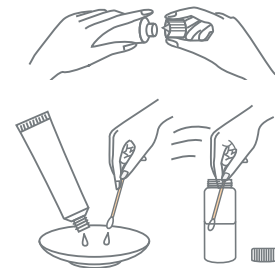


染毛の2日前(48時間前)には、
毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

1 テスト液をつくります。

- (1) 1剤チューブのキャップをはずし、キャップ頭部の突起で、チューブの口に穴をあけます。ごく少量を小皿に出します。
- (2) 2剤のキャップをはずし、綿棒を使って小皿の上に1剤と同量の2剤をとり出します。
- (3) 新しい綿棒で十分に混合し、テスト液をつくります。



2 テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。30分くらい放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液をティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。
- テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。



3 そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。

4 テスト部位の観察はテスト液塗布後30分くらいと48時間後の2回は必ず行ってください。

- そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として、染毛しないでください。
- かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。

5 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。

- ※ 日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

ご使用前の準備

髪の状態

- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラスプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料などをご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。
- 非酸化染毛剤(マロンマインドカラーなど)で染めた髪には使用しないでください。

身じたく

※ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。

- 汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープかタオルをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。
- はえぎわや耳や首に混合クリームがついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきますと、ついても落としやすく便利です。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。
- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくとお操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。



ケープかタオルをかけます。



コールドクリームなどを塗っておきます。手袋をして輪ゴムでとめます。

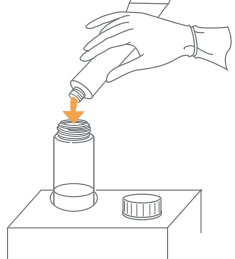
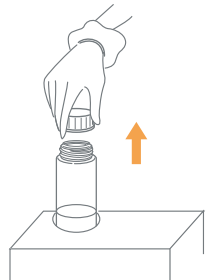
準備ができたら裏面へ

必ず表面もお読みください。

ご使用方法

1 使用直前に混合液をつくります。

- 箱の裏側のミシン目にそって穴をあけ、2剤を固定し、2剤の平キヤップをあけます。
- 2剤に1剤を全量入れます。
1剤チューブは皮膚アレルギー試験(パッチテスト)のときにあけてあります。
- 平キヤップをしっかりとしめ、上下に強く50回程度振り、充分混合します。
※乳液状になるまで充分に混合してください。
目安としては液が動く音がするようになったら混合完了です。
※混合液は紫色に発色することがありますが、表示の色に染まります。
- すぐに添付のくし型ノズルにつけ替えます。

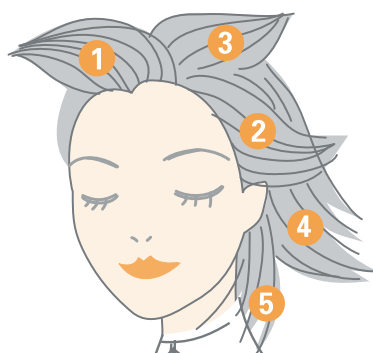


混合液についてのご注意

- ※1箱全量でセミロング(肩にかかる)程度の髪の長さ1回分です。
- ※混合液ができたらすぐに髪に塗ってください。30分以上たつと、染毛効果が弱くなります。
- ※混合液は密栓した容器に保存しないでください。ガスが発生し容器が破裂するおそれがあります。

2 混合液を髪に塗ります。

塗布する順番



- 前髪・生えざわ
- サイド
- トップ
- 頭のうしろ
- えり足

目のあらいクシで髪をよくとかしてほつれをのぞき、クシ通りをよくしておきます。

乾いた髪に使用してください。



染める時のご注意

- ※混合液が顔や皮膚についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーなどで拭き取ってください。時間がたつほど、とれにくくなります。
- ※金属製のヘアピンやクシなどは、熱をもち髪をいためることがありますので、使用しないでください。
- ※混合液が目に入らないよう、特に注意してください。
- ※使い残した混合液は再使用できませんので、必ず捨ててください。
- ※薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。



くし型ノズルワンポイントテクニック

One Point

髪をとかす要領で!

クシの先が髪の中に隠れるように、頭皮に沿ってとかすと、きれいに塗れます。



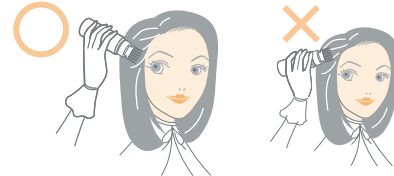
液だまりの作用で、髪の根元にたつぷりと液がつき、しっかり染まります。

生えざわを塗る場合

生えざわを塗布する時は、少しずつ液を出してください。出しすぎるとタレ落ちや飛び散りで液が目に入るおそれがあります。

側頭部を塗る場合

ノズルは下向きに使用すると、簡単に塗布できます。



後頭部を塗る場合

後頭部からえり足にむかって(上から下へ)手を添えながら髪をとかすように混合液をつけます。その後、混合液をなじませるように、もみ込みながらつけると、きれいに塗れます。



毛の長い方で毛先を塗る場合

くし型ノズルに手を添えて混合液をだし、もみ込みながらつけると、きれいに塗れます。



髪全体を染める場合

合計20~30分ほど

- 髪に塗ります。
10分
＜塗布する順番＞を参考に、髪をとかす要領で、髪の根元→中間→毛先の順で混合液を髪全体に手でなじませます。
※生えざわなど白髪の多い部分には、混合液を多めに塗ってください。
- 髪全体になじませます。
10分
目のあらいクシで均一になるように髪全体によくのばしてください。
- 10~20分間放置します。
10分
20分

新しくのびてきた部分を染める場合(リタッチ)

合計20~30分ほど

- 髪に塗ります。
5分
＜塗布する順番＞を参考に、混合液を新しくのびてきた髪の根元に塗ります。
※このとき、全体につけると、毛先の部分と根元が均一に染まらないことがあります。毛先の部分にはつけないようにしてください。
- 10~20分間放置します。
10分
20分
- 髪全体になじませ、放置します。
5分
根元につけた混合液を、目のあらいクシで毛先に向かってのばし、なじませ放置します。

※白髪の多い方、髪の太い方は、放置時間を5~10分長めにするとしっかり染まります。

3 洗い流し、よく乾かします。

- 放置時間がすぎたら、ぬるま湯で十分にすすぎ、シャンプーをした後、トリートメントで仕上げます。
- 汚れてもかまわないタオルで拭いてください。



洗髪・乾かす時のご注意

- ※洗髪時の洗い液が目に入らないよう、特にご注意ください。
- ※目に入ったときは、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科医の診療を受けてください。自分の判断で目薬を使用しないでください。
- ※髪は充分に乾かしてください。
- ※半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。



使用後のご注意

- ※再度ブリーチやヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を使用される場合は、髪や肌への負担を考え1週間以上の間隔をおいてからご使用ください。
- ※次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
- ・髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など。)
- ・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。

捨てられる際は...

※くし型ノズル、2剤容器は、すぐ水などで軽くすすぎ、混合液を洗い流してから、ビニール袋などで包んで、各地域の指定の分別に合わせて、ごみに出してください。